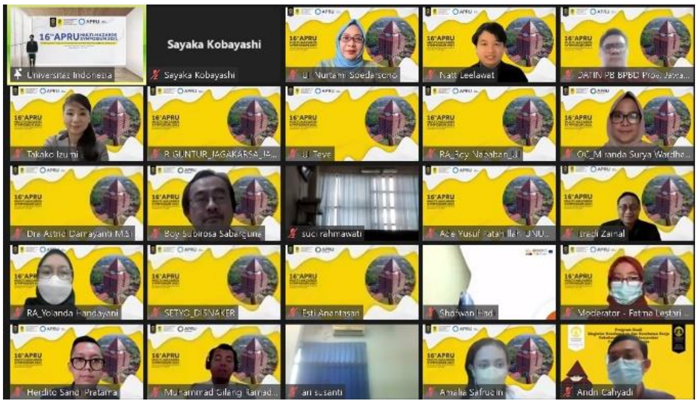
APRUマルチハザードシンポジウム "Building Partnerships for Sustainable Disaster Risk Reduction for All-Hazards" が開催されました（2021/11/24 - 25）

テーマ：APRU, Multi-Hazards, Partnerships, All-Hazards
場　所：オンライン

　11 月 24-25 日に APRU マルチハザードシンポジウム "Building Partnerships for Sustainable Disaster Risk Reduction for All-Hazards" が開催され、インドネシア大学がオンライン会議を主催・ホストしました。500 名以上が参加し、200 以上の口頭発表がありました。当研究所からは、今村文彦所長（津波工学研究分野）、アナワット・サッパシー准教授（同分野）、泉貴子准教授（国際防災戦略研究分野）が参加・発表を行いました。今村所長は "Lessons learnt from the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami for Resilient Society" と題して基調講演を行いました。サッパシー准教授は "Challenge for Building Sustainable System for Resilience and Innovation in Coastal Community" について発表を行いました。また、泉准教授は開会式にて開会の挨拶と APRU マルチハザードプログラムに関する紹介を行いました。

　このシンポジウムは 2020 年に対面での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染の影響により 2021 年に延期となり、またオンライン会議としての開催を余儀なくされました。シンポジウムでは、防災に関わる重要な 10 のテーマについて分科会が開かれ、それぞれのセッションにて学生・研究者・専門家による発表と、参加者による活発な質疑応答や意見交換が行われました。

　2022 年のシンポジウムは、タイのチュラロンコン大学が 11 月 29-30 日にホストする予定です。



文責：泉貴子（国際防災戦略研究分野）